

学校 教育 目標	聴覚に障害のある幼児児童生徒一人ひとりの状態に応じた教育を行い、可能性を伸ばし、心身の調和的発達を図りながら、自他を愛する豊かな心情、社会の一員として必要な基本的態度・習慣・知識・技能の習得を目指し、社会参加、自立、自己実現をしていく子どもを育成する。 ・心身共に健康な子ども (体) ・豊かな人間性をもつ子ども (徳) ・人とかかわりを大切に子ども (公)(開) ・障害を見つめ、よりよく生きようとする子ども (知)				
	学校概要 創立 96 周年 幼稚園部: 12 小学部: 32 中学部: 26 高等部本科: 32 専攻科:	校長 中川修一 副校長 畀林智 川島広子	2 学期制	幼児・児童・生徒数 102 人	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	「( 18 )年間で育てる子ども像」と 具体的取組
コミュニケーション力 ことばとことば 社会の中で生きていく力	社会の中で良好な人間関係をつくり、社会参加・自立・自己実現する子ども ----- ・学部を越えた「一貫教育」 ・より良い人間関係のための「確かな情報伝達」 ・社会性や集団性、対人意識育成のための「交流教育」 ・将来の夢や目標、意欲のための「確かな進路」 ・生きる力のための「確かな学力」 ・全人的な人間形成のための「健康・安全・安心」

中期 取組 目標	☆子どもたちが自分の姿を見つめつつ、自己肯定感、自尊感情をもって成長できる学校。 ☆子どもたちが将来的な、あるいは創造的な夢を抱き、実現のために主体的に取り組み、学校生活を楽しめる学校。 ☆教職員が聴覚障害児教育の専門性を維持、継承しつつ、柔軟な個に応じた教育を実践する学校。 ☆教職員が働き方改革の理念を意識しつつ、お互いに支えあい、学びあい、教師力を高める学校。 ☆横浜市唯一の聴覚障害児特別支援学校としてのセンター的機能の発揮と発信を積極的に行う存在感のある学校。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当	・研究授業等を活用し授業改善に努め、育てるべき資質、能力、ねらいを明確にした授業を展開する。 ・ICTを積極的に活用し、実践事例を蓄積、共有する。 ・個々の実態、状態を的確に把握し、個に応じた柔軟な指導、支援を展開する。
<b>豊かな心</b> 担当	・読書活動を積極的に推進する。 ・カリマネを意識し、教科横断的にことばとことばを育てる指導、支援を実践する。 ・個を認め、良い点をほめ、自己肯定感、自尊感情とともに、他を認める気持ちを育てる。
<b>健やかな体</b> 担当	・体育、部活動、行事等を通してスポーツを楽しむ意識を育てる。 ・食育、健康教育を推進し、心身の健康的な成長や自己管理を学び、実践する意識を育てる。 ・発達段階や状況に応じ、自己の障害を認識し社会との関わり方を学ぶ機会を積極的に設定する。
<b>人とかかわり</b> 担当	・副学級交流、学校間交流を可能な範囲、方法で行い地域の中で生きる意識を育てる。 ・オンラインを活用して人とつながる方法を実践する。 ・遊びと体験学習を重視する。 ・挨拶の習慣化、意識化を図る。
<b>センター的機能の                      発揮</b> 担当	・特別支援教育コーディネーターを中心に地域との連携・支援を積極的に推進する。 ・通級指導教室の支援センター機能を活用し在籍校との連携を図る。 ・ホームページ等を通じ、学校を地域や社会に知ってもらうべく積極的な情報発信に努める。
<b>安全安心</b> 担当	・系統的な防災学習をもとに、より実践的な避難訓練の実施に努める。 ・危険箇所等の施設改善、改修を進め、事故の未然防止に努める。 ・全校的に教育相談体制の整備、充実を図り、児童生徒の変調等に迅速に対応する。
<b>キャリア教育</b> 担当	・可能な範囲で職場体験、実習等の体験を実施しつつ個のニーズや実態に応じた系統的、計画的な進路指導に努める。 ・他学部との連携や先を見通した系統的な指導、支援とともに、保護者の理解促進を図る。 ・キャリアパスポートの活用を進める。
<b>児童生徒指導</b> 担当	・個々の課題に対してSC、SSW、関係機関とも連携し適切、迅速に対応する。 ・低学年からスマホ、SNS等に関連した指導を実施し、マナーや意識の向上を図る。 ・基本的な生活習慣の確立や課題の早期発見等について保護者との連携を図る。
<b>いじめへの対応</b> 担当	・いじめ防止対策委員会を活用し、情報の共有、意識の統一を図り、組織的な対応を進める。 ・研修会の実施や情報提供により、教職員全体でいじめの認識や対応等の統一に努める。 ・子どもたちや保護者が安心して相談、発信できるよう機会、窓口、方法を周知、実践する。
<b>人材育成・                      組織運営                      (働き方改革)</b> 担当	・目標設定や振り返りの面談等を活用しキャリアステージへの意識を高める。 ・チームの意識をもって一人ひとりを尊重しお互いに支え合い、高め合う職場を作る。 ・オンライン研修等ICTを活用した育成を実践する。 ・ICTの活用と日常の積極的な業務見直しを推進し、効率的な業務遂行を図る。